

子どもと子ども、
子どもと教職員、
教職員と教職員、
地域と学校をつなぎ、
育ちと学びの絆が深まる宇治市の小中一貫教育

つながりとふれ合いの中で愛情や信頼を感じ、
たくましく、仲間と高め合う宇治市の子ども

令和 8 年度は、昨年度作成した「宇治市の小中一貫教育 12 年間の検証を踏まえた「宇治市の小中一貫教育 今後の展望」を、小・中の教職員で共有し、Ⅰ～Ⅲの 3 つの柱に基づき、具体的な取組を進めることとする。

I 「主体的・対話的で深い学び」と「インクルーシブ教育」の一体的な推進

〈具体的な取組〉

- ラーニングコーディネーターの活用促進、効果的な実践事例の交流活動や実践的な資質能力の育成をめざした研修の質の向上
- 市全体での「ラーニングコーディネーター会議」の定期的な開催
- 全ての子どもたちにとって分かりやすく学びやすい学習者主体の環境を整備
- 「みんなの学びプロジェクト」に基づく学びのデザイン、学力調査の結果分析、児童生徒の学力課題の把握・取組方針やビジョンの共有
- 児童生徒の探究的に学ぶ力の確実な獲得につながるよう「宇治学」を推進
- 「情報の整理・分析」「まとめ・発表」時の ICT の効果的な活用
- 「宇治学」副読本を効果的に活用した学習活動の質の向上
- 小中学校間での交流や授業などでの ICT の活用、タブレット端末の効果的な活用
- 小学校・中学校での授業参観・公開授業を含む合同授業研究
- 「小小連携」を通じた教員間での教育内容の共有

Ⅱ 保幼小連携から小中一貫教育で培う「育ちと学びの連続性」による人づくり

〈具体的な取組〉

- 多様化する児童生徒の背景にある要因に焦点をあてたアセスメントを進め、多角的・多面的な児童生徒への理解に基づく適切な支援
- 「『中1ギャップ』から『中1ジャンプ』へ」としての視点を持ち、節目として位置づけられる取組や、変化を前向きに捉えられるような取組の推進
- 児童生徒理解や支援に関わる部会の定期的な開催
- 乳幼児教育・保育支援センターとの協働による、架け橋期の共通プログラムの作成等、就学前児童との交流活動の実施、授業参観・保育参観等を通じた教職員同士の交流等、就学前施設との連携を強化
- ブロック校長会や小中一貫教育コーディネーター会議を中心に、ブロック全体で取組の目的や必要性を熟議し児童生徒の主体的な交流活動取組を促進
- 「総会」「合同研修会」でのブロックの児童生徒の実態交流や「各校の授業参観」の実施
- 小学6年生の「中学校の学習・生活体験」「部活動体験・見学」を実施

Ⅲ 家庭・学校・地域が協働した取組の推進

〈具体的な取組〉

- 「コミュニティ・スクール」による中学校ブロックを意識した連携を推進
- 学校運営協議会等を活用し、保護者・地域とともに目的や必要性を熟議し取組を精査
- 学校運営協議会や、地域団体への積極的なブロックの取組への参加・参観等の案内
- 「小中一貫だより」の発行やホームページ、他の情報発信ツールの活用による、小中一貫教育の様々な実践が、「見える取り組み」となるよう受け手にとって意義のある情報発信を推進
- 「保護者や地域の方の主体的な参画かつ気軽な参加」を促し、学校・地域の文化として継続できる取組を推進
- 保護者、地域からの意見や考えを積極的に収集し双方向型の取組を進めるための「アンケート」等の実施・活用